

光で照らす、まちの未来

あわらし議会だより

vol.87

2026 winter

12月定例会



特集

2p

「議長・副議長インタビュー」
「行政視察レポート」



撮影場所：(株)金津村田製作所

未来に残したい
あわらの風景

優しく暖かい光があわらを包み、
イルミネーションを見つめる横顔に、
まちの未来が映し出されていくようです。

photo by tomosaki

議長・副議長に
聞いてみた！
特集
interview

改選後の議会の舵取り役

議長・副議長インタビュー

議長
▼▼▼
室谷陽一郎
むろたひょういちろう

どのような議会を目指しますか？

議長として、私は「議論する議会」の実現に何より情熱を注いでいます。議会の役割を単なる採決やチェックに留めず、議会全体として市政へ政策提言を行う組織へと変革したいのです。既に休会中の調査活動や、若手議員によるSNS・YouTube発信など、透明性が高く活気ある議会づくりは動き出しています。「議員が変わらなければまちは良くなりません」という強い信念を胸に、市民に信頼される開かれた議会を追求し続けます。

議員としての原点は？

私の原点は、市町村合併を機に「このまちをどうすべきか」と自問したことにあります。元は一介のサラリーマンでしたから、今も「自分は一般市民と同じ」という感覚を忘れません。偉そうな振る舞いや上から目線は排し、常に市民と同じ目線で共に悩み、歩みたいと考えています。

市民の皆さんへ一言

新幹線開業後の活性化という課題も、皆さんと対等に語り合い、多様な意見を解決の力に変えていく覚悟です。批判も歓迎します。門戸を常に広げ、議論の力で新しいあわら市の未来を共に創っていきましょう。



議長・副議長の
インタビュー映像は

コチラから！



YouTube

副議長
▼
堀田あけみ
ほりたあけみ

どのような議会を目指しますか？

副議長として、私はまず「誰もが意見を言いやすい議会」を創り上げたいという強い情熱を持っています。これまでの議会には、どこか自分の意見を述べにくい雰囲気がありました。その壁を取り除きたいのです。市民の皆さんに「議会が何をしているかわからない」と言わせないように、待つのではなく自ら出向く「アウトリーチ」を徹底し、さらに予算資料の「見える化」といった改革を通じて、より深い議論ができる仕組みを構築します。

議員としての原点は？

この思いの原点は20年前、まちづくりの会議で市民の意見が届かなかった悔しさにあります。夫の「自分が議員になって声を届けたい」という言葉に背中を押され、子育てを終えてからこの世界に飛び込みました。

市民の皆さんへ一言

道路の水たまり一つへの不満といった小さな声も、放置すれば大きなストレスになります。35年間の病院勤務の経験を活かし、小児科の充実や人口減少対策など、安心して暮らせるまちづくりに挑みます。副議長として議長を支えつつ、一人の議員としてもしっかりと意見を述べ、市民の皆さんの思いを市政に繋ぎ続けてまいります。



▲視察報告書は
コチラから！

議会運営委員会



決算を予算に繋ぐ、実効性ある審査サイクル (視察先：可児市)

可児市議会では、決算審査での気づきを次年度の予算編成に反映させる「予算決算審査サイクル」を学びました。分科会での協議や自由討議を経て市長への提言が行われています。さらに、提言が予算にどう反映されたか執行部から報告を受ける仕組みがあることも特筆すべき点です。

次のあわらへのポイント!

議論を予算に結びつける効果的な仕組みづくり

結果を次の未来へ!



「議論する議会」が生み出す重みある政策提言 (視察先：高山市)

高山市議会では、「政策形成サイクル」の構築について視察しました。市民との意見交換や専門家の知見を交えて徹底的に討議し、最終的に全議員の合意を得て市長へ提言書を提出していました。市民意見の反映や財政見通しの具体性などの厳しい要件で、提言の質を担保しています。

次のあわらへのポイント!

政策提言などの議会力向上に向けた制度設計

提言できる議会へ!

総務厚生常任委員会



連携で子どもを育て「共育」のまち (視察先：苦小牧市)

苦小牧市では、企業や市民が一体となって子育てを支える「共育」の現場を学びました。青年会議所から始まった「ベビとま運動」を行政が引き継ぎ、市全体で応援する仕組みや、移住支援においても、一人ひとりに寄り添うオーダーメイドの対応がミスマッチを防いでいました。

次のあわらへのポイント!

地域全体で温かく人を迎え入れ、共に育てる環境づくりの強化

まち全体で共育を!



職員の安心が質の高い奉仕を生む環境づくり (視察先：札幌市)

札幌市では、「カスタマーハラスメント対策」について研修しました。職員の安全と尊厳を守る指針を定め、全庁的に取り組んでいました。現場の判断基準などの課題はありつつも、職員の心理的安全性を高めることが市民サービスの向上に繋がるという考え方には強く共感しました。

次のあわらへのポイント!

職員が安心して働ける環境づくりの推進と、質の高い行政運営の基盤づくり

安心して働ける職場を!



体験が防災文化を創る教育拠点 (視察先：千歳市)

千歳市の防災学習センター「そなえーる」では、体験型の防災教育の重要性を学びました。地震や煙の避難体験などを通じ、年間約1万人もの子どもたちが災害を自分事として学んでいます。学校と連携したプログラムにより、地域の防災文化を着実に根付かせています。

次のあわらへのポイント!

知識を伝えるだけでなく、体験を通じた学びを中心に据えた、次世代へ繋がる防災体制の構築

次世代へ繋がる防災体制!

産業建設教育常任委員会



民間主体の観光と歴史を活かすまちづくり (視察先：尾道市)

尾道市では、民間が観光を牽引し、行政がインフラ整備を担う機能的な役割分担を確認しました。市内174箇所の「サイクルオアシス」など、サイクリング初心者に優しい環境整備や、「古いものを残し新しい価値を足す」という意思のもと、古民家再生店舗がまち全体の統一感を保っていました。

次のあわらへのポイント!

北潟湖周辺での体験型観光ルートの整備や、民間主体の観光推進組織の検討

あわらならではの観光を!



芸術と住民生活が共存するまちづくり (視察先：直島町)

直島町では、アート振興を民間が主導し、行政は住民の暮らしを守る「調整役」に徹していました。島全体が産業・文教・アートのエリアに整理され、公共施設も芸術の一部として日常に溶け込み、芸術が特別なものではなく「生活と共にある存在」となっていることを実感しました。

次のあわらへのポイント!

地域の日常にアートが溶け込み、まちの豊かさを高める観光の推進

地域の日常にアートを!



イェナプラン教育と地域協働の推進 (視察先：福山市)

福山市では、イェナプラン教育を取り入れた、対話を重視する学校運営を視察しました。異年齢集団での活動を通じ、子どもが自律的に学ぶ力を育む姿が特徴的でした。また、不登校支援としてメタパスを活用するなど、多様な学びの選択肢が整っていました。

次のあわらへのポイント!

地域が「教育パートナー」として学校運営に深く関わる体制の構築

誰も取り残さない学びを!

12月定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。1人25分の持ち時間の中で、さまざまな議論が行われました。ここでは、そのやりとりの一部を掲載しています。

あお やぎ あつ し
青柳 篤始 議員



YouTube



1. 観光を軸とした地域主導型まちづくりの推進について

- Q 約213万人という観光入込客数をどのように分析し、今後どのような誘客戦略を描いていくのか。
- A 令和6年の観光入込客数が過去最高を記録した一方、全国的な認知度の低さなど課題もある。地道な広報活動を継続し、誘客戦略を再構築していきたい。また、デジタルデータを活用したターゲット分析を強化し、効果的なプロモーション手法を磨き、訪問意欲を高める発信を進めていきたい。
- Q ファネル分析、人流データ、SNSデータなど今後どのように収集・分析し、観光政策のPDCAに活かしていくのか。
- A 「認知から興味、そして行動へ」という流れをデータで把握し、課題を見える化することは非常に重要だと考えている。人流モニタリングツールやWEBアンケートの活用、SNSのフォロワー数や閲覧数の把握のほか、福井県観光データ分析システムなどを活用し、データを継続的に収集・分析し、観光施策のPDCAに活かしていきたい。

み さわ ゆう ぞう
見澤 勇三 議員



YouTube



1. 中学校部活動の地域展開の取り組みについて

- Q 地域クラブ活動を、平日においても推進して行くべきではないか。
- A 合同部活動も視野に入れ、実現可能な活動の在り方を検討していく。
- Q 安全管理体制、指導者の資質向上など運営面の現状認識と課題解決への取り組みはどうか。
- A ハラスメントや事故防止のため、指導者の認定制度の導入や研修によって指導者の資質向上に努めている。
- Q 市が認定する地域クラブの優先的な施設利用と費用負担の考えは。
- A 中学校と連携し、中学校施設を優先的に利用可能とし、費用は無償とした。市の施設も同様としたい。

2. 総合型地域スポーツクラブの環境整備について

- Q 総合型地域スポーツクラブとスポーツ協会との連携の考えは。
- A 一般社団法人あわらトリムクラブを地域展開の受け皿とし、スポーツ団体や文化団体と連携し、子ども達が学校の部活動にない種目も楽しむことができる環境を構築していく。
- Q 総合型地域スポーツクラブの環境整備と利便性の向上の考えは。
- A あわらトリムクラブにスポーツ施設の指定管理を委ねる。これにより、施設利用の自由度向上と市民ニーズに応じた活動メニューの実施を期待している。

きた うら ひろ のり
北浦 博憲 議員



YouTube



1. 北潟湖畔活性化プロジェクトの取り組みについて

- Q 北潟湖畔公園に、利用者からの希望が多い屋外遊具やベンチ、休憩施設、街灯などの整備はいつ行うのか。
- A 北潟湖周辺地域に関連する取り組みの全体的な計画の進捗を踏まえながら、中期的な視点で、どのような取り組みが必要か、整備について検討を重ねていきたいと考えている。また、サイクリングパークエリアにおける大型遊具の設置について、来年度以降、県に要望していきたいと考えている。

2. 応援職員の受入れ体制と受援計画について

- Q 大規模災害時における受援対象業務は、全体でいくつあるのか。
- A 情報分析や組織調整などの総括的なマネジメント業務、住宅などの被害認定調査と罹災証明書を交付する業務、避難所のゴミや災害廃棄物の処理に関する業務、支援物資に関する業務、被災建築物の応急危険度を判定する業務、避難所運営業務の6つである。

ほり た
堀田 あけみ 議員



YouTube



1. 大規模大会・イベント開催の効果について

- Q あわら市を知ってもらうために、関係団体と協力はしているか。
- A 大会やイベントにおいて、文化資源の活用に加え、観光や交流の視点を取り入れ、関係団体と協力して多面的なPRを進めている。
- Q 福井県市町文芸選抜芸能祭において、市内での宿泊者数などを把握し、アンケートを実施するなど、効果検証をしているか。
- A その大会ではアンケートの実施していないが、今後はアンケートなどを活用し、効果検証を行い、市の魅力をアピールできるよう努めたい。

2. 少子化とこども園の存続について

- Q こども園への財政面での支援はどのようか。また、園外保育活動への支援額が少ないのではないか。
- A 市は、園児数やこども園の体制に応じた給付費や補助金を交付している。園外保育活動にも財政支援をしており、支援額は活動内容やニーズを踏まえて検討していく。
- Q 入園者数の変動によって毎年影響を受ける保育士配置に対する支援はどのようか。
- A 入園手続き時に利用定員などを確認し、適切な配置ができるよう入園先の調整を図っている。園と連携し、持続可能な支援策を検討していきたい。

しま だ とし や
島田 俊哉 議員



YouTube



1. 「あわら温泉街の北の玄関口」にふさわしい景観形成とおもてなし空間の整備について

- Q あわら市では「あわら温泉街再整備基本計画」の策定が進み、温泉街再生の好機を迎えている。一方、北の玄関口に位置する旧ガソリンスタンド跡地は計画対象外で、三方をバリケードで囲まれたまま、温泉街の顔として望ましくない。楽天の新ホテル開業や星野リゾート進出で注目が高まる今こそ、玄関口としての整備が重要であり、花壇や案内板など低コストの工夫も可能である。市長の現状認識と今後の整備に対する見解を伺う。
 - A 温泉街の印象を左右する重要地点との認識はあるが、今回の整備計画ではエリア外のため具体的な整備計画はない。しかし、民間活用の動向を注視しながら温泉街再整備の取り組みと連動できるよう検討を進めていきたい。
- 🔦 今回の整備事業と連動して北の玄関口整備を進めてほしい。

の ざ わ ゆ き
野沢 裕希 議員



YouTube



1. クマを中心とした横断的鳥獣害対策で「暮らす人にも、訪れる人にも安心なあわら市」の実現について

- Q クマ被害の深刻化を踏まえ、市民・観光客の安心確保の観点から、これまでの鳥獣害対策の総括と課題認識を伺う。
- A 市はこれまで鳥獣害対策室を設置し、「集落に寄せ付けない」「農地の確実な侵入防止」「加害獣の捕獲」の3方針に基づき対策を推進してきた。近年は芦原中学校付近でも出没報告があるため、市民や観光客への周知、注意喚起などの強化が必要と考えている。また、春先にクマが出没することから、毎年5月には横断的なクマ対策会議などを開催し、早期に対応方針を共有できる仕組みを進めたい。さらに、捕獲隊員や市職員の安全面の確保や効率化のため、AIカメラを3台増設したいと考えている。そして、今後の防護柵の設置や維持管理が困難になっていることについては、他市町の事例を参考に今後検討していきたい。



各議員の名前横に掲載しているQRコードを読み取っていただく動画をご覧ください。また、増量版は右のQRからご覧ください(希望議員のみ)。



一般質問では、議員が市政の課題や方針について質問し、まちをより良くするための提案を行います。

Q…議員の質問 A…市側の回答 …最後に一言

みなみ りょう いち
南 良一 議員



1. 市民の声をいただくタウンミーティング等の在り方と方向性について

Q 市長ふれあいトークや次世代につながるタウンミーティングの成果と今後の方向性は。
A 市長ふれあいトークでは、地域の課題や困り事など市民の率直な声を伺い、市政に反映してきた。また、次世代につながるタウンミーティングでは、若い世代から前向きで頼もしい様々な意見をいただいた。いずれもいただいた意見にしっかり回答し、実現可能なものを市政に反映させ、「自分たちの声がまちづくりに活かされている」と実感してもらえる環境整備が重要と考えている。

まちづくりに関心のある市民のみなさんが市に提言できる場を検討願いたい。

2. 市民にとってのDXの在り方と進捗具合について

Q 市民へのDXの進め方は。また、電子回覧板システム「自治会サポ!」の今後の方向性は。
A 「暮らしやすく幸せを実感できるまちスマートシティあわら」の実現に向けて、全世代が安心して行政サービスを利用できるようDX推進基本計画の改定を予定している。「自治会サポ!」の普及・推進は、区長会議等で先行事例を共有するほか、職員が自治会へ赴き、導入効果の説明や操作方法をサポートするなどして普及推進に努めたい。

市のキャッチフレーズである「誰一人取り残さないデジタル化」へ向けて、情報連絡網を確立していくことに応援を惜しまない。

いえ がみ まさ ゆき
家上 雅之 議員



1. 乗合タクシーの利便性向上と拡充について

Q 吉崎・浜坂地区の市民の生活圏は隣接する加賀市である。吉崎・浜坂地区から加賀市まで乗合タクシーを運行する考えはないか。また、乗合タクシーについて、加賀市と協議する場を設ける考えはあるか。

A 加賀市が運行する「キャン・バス」や、乗合タクシーとハピラインふくいの乗り継ぎなど、まずは既存の公共交通機関の利用を検討いただきたいと考えている。加賀市への乗り入れについては、今後加賀市とその可能性や必要性などについて、情報交換を行っていく。

Q 永平寺町のような「近助タクシー」事業を取り入れる考えはないか。

A 市では、すでに乗合タクシーが市内全域で整備されており、交通空白地が存在しないため、現時点では「近助タクシー」のような新たな仕組みを導入する必要性は低いと考えている。

なか じま みず き
中嶋 瑞希 議員



1. 中山間地域における農地管理と担い手不足、相続放棄地・所有者不明農地への対応について

Q 相続放棄地・所有者不明農地への対応は。
A 耕作放棄に至る前の早期把握が重要と考え、地域住民からの情報提供や農地パトロール、農業委員会との連携により状況把握を行っている。所有者不明農地は、農地中間管理機構に最長40年の利用権を設定し、農地利用の促進をしていくことも可能である。相続放棄地、所有者不明農地のいずれも、地域からの情報提供や相続人からの相談、農業委員会などを通じて情報を取得しやすいよう、連携や体制の強化に努める。

2. 副業・兼業人材の活用について

Q 市内企業に対してどのような支援策があるか。
A 県の支援機関「ふくいプロフェッショナル人材総合戦略拠点」において、副業・兼業人材の活用相談が可能だ。令和7年度からは、県の支援制度を補完する形で、副業人材の活用に関する経費の3分の2(上限額10万円)を助成する制度を創設した。

み かみ ひろ あき
三上 寛了 議員



1. 指定管理施設におけるまちへの波及効果や蓄積型の価値創出について

Q アフレアと金津創作の森において、まちへの波及効果や価値が蓄積されていくような取り組みを行っていくことはできないか。

A アフレアでは、指定事業のイベントの中で地域とのつながりを生み出す仕組みづくりを検討、実施していく。また、周辺を周遊できるような仕掛けについても検討を進める。金津創作の森の活動については、参加型イベントの充実や、市内各施設との連携による作品の恒久設置など、まちへとアートが広がる取り組みを進めていきたいと考えている。

Q 市民を勇気づけてコミュニティを作り、行政と民間の間を繋ぐような人材を配置する考えはないか。

A 現在、アフレアでは施設職員やイベントプレーヤー、金津創作の森では学芸員が中心となり、地域との繋がりを生み出すよう努めているが、なかなか深く地域に入り込めないのが現状である。将来的には外部人材の活用も視野に入れ、まちづくりに良い影響を及ぼす手法について検討を進めていきたい。

なか が いち か
中垣内 えり香 議員



1. 部活動の地域展開について

Q 部活動を地域展開した場合、人格形成等の部活動の役割を維持、向上できるのか。
A 国の方針に沿って、専門指導員の配置や研修、学校との連携により、地域展開後も活動の質の維持・向上を目指す。

2. 「みどりの食料システム戦略」と「オーガニックビレッジ」への挑戦について

Q 「福井県農林漁業における環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画」の進捗と目標達成への道筋は。

A 有機農業・特別栽培米の市の取組面積は、令和6年度に173haに拡大し、目標の32%増に到達している。今後も有機農業等に取り組む経営体への支援を継続していきたい。

Q 「オーガニックビレッジ宣言」を視野に、健康・観光と連動した戦略をどう考えるか。

A 宣言を行うことは現段階では難しいが、「持続可能で環境負荷の少ない農業」の実現に向け、課題を一つずつ解決し、「オーガニックビレッジ」宣言に向けて、今後検討を進めたい。また、農業者・観光事業者・市民が、体験型の取り組みなどを通じて農業と食文化を育み、「健康長寿のまちづくり」にも寄与できるよう、関係所管課と連携して進めていきたい。

せき やま こう じん
関山 耕人 議員



1. あわら湯のまち みらいプロジェクトの効果検証について

Q 社会実験の成果と課題を今後の計画策定にどのように反映させていくのか。

A 多角的なデータを整理し、「あわら温泉街再整備基本計画」に反映。市民や事業者との意見を伺う場を設け、合意形成を図りながら進めていきたい。

2. ふるさと納税における寄附金の使い道と制度周知について

Q 寄附者が選択できる使い道に「市民提案型の地域活性化プロジェクト」を新設し、市民から事業アイデアを公募できる仕組みを導入する考えはあるか。

A 市民の意見を取り入れ協働で実施できないか、どのような枠組みであれば実現可能かを検討・研究していく。

市民の主体性を高めることが、誇りの醸成に繋がり、住んでいて良かったと思えるまちになると考える。今後の市政運営において、こういった視点をこれまで以上に大切にしていきたい。

令和7年12月 定例会を 開催しました

11月25日から23日間にわたって、12月定例会が開催されました。定例会では、令和7年度補正予算に加え、条例の制定など議案21件を審議。12月4日、5日には12人の議員が一般質問を行いました。12月17日の本会議では、各常任委員会での審査結果が報告され、採決の結果、すべての議案が可決されました。また、総務厚生常任委員会と産業建設教育常任委員会から閉会中における所管事務調査の申し出があり、承認されました。

このほか、こども園の運営に関する要望書については、全員協議会で配布することによって議員全員が確認しました。

12月定例会の流れ

11.25▶12.17

月 日	会議名・会議内容
11/25 (火)	本会議 ・議案上程 ・会期決定 予算決算常任委員会 ・予算質疑
12 / 4 (木)	本会議 ・一般質問
12 / 5 (金)	本会議 ・一般質問
12 / 9 (火)	総務厚生常任委員会 ・議案審査
12/10 (水)	産業建設教育常任委員会 ・議案審査
12/16 (火)	予算決算常任委員会
12/17 (水)	本会議 ・質疑 ・討論 ・採決

令和7年度 一般会計補正予算 (第5・6号) 成立

総額 5億9,753万3千円を増額!!

一般会計の予算総額は183億1,114万9千円となりました。主な歳出予算は、人事院勧告に伴う人件費、ふるさと納税返礼品費、障害者自立支援給付事業、物価高対応子育て応援手当、金津本陣にぎわい広場土地購入国庫補助金返還金などが計上されています。

金津本陣にぎわい広場民間提案事業(マクドナルド芦原温泉駅前店)

金津本陣にぎわい広場
解体整地等事業

1,700万円
(債務負担行為)

民間提案事業設備
投資補助金

1億5,000万円
(債務負担行為)

金津本陣にぎわい広場の
廃止に伴う国庫補助金返還金

961万6千円

金津本陣にぎわい広場について、市ではこれまで市民の皆さんから活用方法についてアンケートを実施するなど意見を募集してきました。その中で多く寄せられたのが「全国チェーンを含む飲食店がほしい」という声でした。

こうした市民の意見を踏まえ、民間事業者から活用提案を募集した結果、日本マクドナルドホールディングス株式会社の提案が選ばれ、芦原温泉駅前に店舗を整備する計画が進められています。

計画では、民間事業者が約3億5,000万円を投じて施設を整備・運営し、市は解体・整地として1,700万円、設備投資補助として1億5,000万円、国庫補助金返還として961万6千円を負担します。

これまで、にぎわい広場に年間約700万円の指定管理料を支出してきたことを踏まえ、今回の事業は、一度の投資で日常的なにぎわいを生み出すことを目指す取り組みです。開店は令和8年12月を目指しています。

※債務負担行為とは、議会の議決を得て、来年度以降の支払いを定める行為のこと



▲aキューブのある金津本陣にぎわい広場

常任委員会 条例審査

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

質問 令和8年3月から分別方法が統合され、資源プラスチックの一括回収が始まるが、地元説明会は実施しないのか。
答弁 地域要望を踏まえ必要に応じて実施を考えたい。

公の施設の施設管理者の指定について

質問 トリムクラブへの指定管理料の妥当性を判断できる資料の提出を求める。
答弁 令和8年度当初予算において提示する。

常任委員会 予算質疑

嶺北消防負担金

補正予算額 △418万6千円
質問 予算減額は消防団員不足によるものか。
答弁 そのとおりだ。嶺北消防組合とも連携し、団員確保に向けた対策強化を図っていききたい。

障害児支援事業

補正予算額 2,220万円
質問 予算増額となったのは、利用者が増加したためか。
答弁 サービスを利用する児童数の増加に加え、利用日数も増加しているからだ。

移住定住促進事業

補正予算額 65万円
質問 移住者が市外へ転出したことによる県補助金の返還金だが、定住率向上に向けた伴走支援の充実が必要ではないか。
答弁 移住サポーターと協力し、移住者の定住率向上に努めていきたい。

在日台湾人インフルエンサー活用事業

補正予算額 200万円
質問 北陸新幹線駅が所在する3市が共同で行う事業とのことだが、フォローの属性分析を確認しているのか。
答弁 あわら市のインバウンド客の約4割が台湾からの観光客であり、ニーズにマッチした属性のフォロワーを多く持つインフルエンサーに依頼したいと考えている。

はたちのつどい記念アルバム制作委託料

補正予算額 58万9千円（債務負担行為）
質問 参加者はデータ形式のオンラインアルバムを希望しているのではないか。
答弁 データはスマートフォンでいつでも撮影できるので、逆に紙のアルバムを希望している。

下水道管渠清掃等委託料

補正予算額 610万3千円
質問 下水道管隆起の原因を把握し、通常使用できる状態なのか。
答弁 能登半島地震による隆起と想定しており、汚泥堆積による管の詰まりは清掃により解消しているが、原因を調査し修繕したいと考えている。

その他の質疑や詳しい内容は、動画をご覧ください。

総務厚生
常任委員会



産業建設教育
常任委員会



議案の結果

採決結果一覧

賛成 = ○ 反対 = ×

※議長は採決に加わらないので「/」で表示しています。



採決で賛否が分かれた議案のみを掲載しています。

これ以外の議案等は賛成全員で可決しています。詳しくはQRコードからご覧ください。

全ての議案一覧はコチラから



第129回 あわら市議会定例会	議案番号	議案内容	議決結果	表決																
				賛成	反対	中嶋瑞希	関山耕人	中垣内えり香	野沢裕希	家上雅之	南良一	見澤勇三	三上寛了	青柳篤始	島田俊哉	北浦博憲	堀田あけみ	室谷陽一郎	笹原幸信	北島登
	93	令和7年度 あわら市一般会計補正予算(第6号)	可決	14	1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

聴かせて

議会とまちの未来を語ってみよう

～ 語ろう会で交わした“市民の声”～

あわら市議会では“市民”と“議員”が意見を交わす場として「議員と語ろう会」を開催しています。今回は、8会場で意見交換会を行いました。その様子を一部ご紹介します！



議員定数削減について ご意見をいただきました

参加者からは「議員がいる地区とない地区で、声の届きやすさに差が生まれませんか不安だ」とのご意見をいただきました。一方、「削減するのであれば、市民の声をくみ上げる仕組みをセットで整備することが不可欠」とのご意見もいただきました。



政務活動費について ご意見をいただきました

参加者からは「しっかり議員の仕事をするのであれば支給に反対ではない」とのご意見をいただきました。一方、「徹底的に情報公開を行い、市民に活動内容が理解されてから導入すべき」とのご意見もいただきました。



他にもこんなご意見いろいろ！

ほかにも「防災減災対策」、「人口減少対策」、「区長のなり手不足」、「乗合タクシーの広域化」、「農業者の担い手不足」、「鳥獣害対策」など幅広い分野のご意見をいただきました。

みなさんの声が議会を動かす力になります！

Topics

議員と“語りたい”団体募集！

議員と語りたい団体・グループを募集しています。参加者と議員が少人数のグループで気軽に意見交換できる場です。共に「あわらの未来」について考えてみませんか？みなさまのご応募をお待ちしています！

対象 市内に拠点を置く団体、または市内に在住・在勤・在学する方々による3名以上のグループ

申込み お申込みは右記QRコードを読み取り、応募要項をご確認のうえ、お申込みください



二つの特別委員会を立ち上げました！

令和7年10月7日に、あわら市議会は「防災・減災対策特別委員会」と「人口減少対策特別委員会」の二つの特別委員会を立ち上げました。市民の命と暮らしを守る防災力強化と、人口減少の課題を解決し“人々が暮らし続けたいまち”を探求するため、これらの特別委員会を通して議員同士で活発な議論を行っています。

委員会の様子は市議会公式YouTubeにてリアルタイムで配信されます。本ページ下部中央のQRコードからぜひご視聴ください。

3月定例会のお知らせ

会期 3月2日(月)～3月19日(木)

日	月	火	水	木	金	土
3/1	2	3	4	5	6	7
	本会議 予算決算 常任委員会		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		
8	9	10	11	12	13	14
		総務厚生常任委員会	産業建設教育常任委員会			
15	16	17	18	19	20	21
			予算決算 常任委員会	本会議 (採決等)		
22	23	24	25	26	27	28

※日程は都合により変更されることがあります
※傍聴をご希望の方は議会事務局までお問い合わせください

発行
あわら市議会

【編集】あわら市議会広報特別委員会
〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号
あわら市議会事務局 TEL.0776-73-8045(直通)



▲市議会HP

本会議をライブ配信しています

パソコン、スマートフォン、タブレットで本会議の様子をみませんか？過去の映像など配信しています。



YouTube

ご意見・ご感想をお寄せください

市民のみなさんに親しまれる紙面を目指しています。紙面についてのご意見・ご感想をお寄せください。



▲投稿フォーム